

Living in Peace

マイクロファイナンスプロジェクト

2022/7/2

Living in Peace

目次

1. Living in Peace マイクロファイナンスプロジェクトのご紹介
2. ケニアについて
3. 現地の様子

目次

1. Living in Peaceマイクロファイナンスプロジェクトのご紹介
2. ケニアについて
3. 現地の様子

団体紹介

私たちLiving in Peace（LIP）は、全員プロボノで「機会の均等を通じた貧困削減」を目指す認定NPO法人です。

名称	認定特定非営利活動法人 Living in Peace （代表者：中里 晋三、龔 軼群）
設立	2007年10月28日 結成 2009年 4月13日 NPO法人格取得 2012年 7月16日 認定NPO法人取得
所在地	東京都中央区日本橋兜町5-1 兜町第一平和ビルB1
事業の目的	国内外の貧困問題及び機会の不平等に関する情報を広く集め、その課題解決のための調査研究を行い、自らが課題解決に取り組むと同時に社会に対する普及及び啓発活動を行うことで、貧困の削減及び機会の平等を通じて誰もが平和のうちに暮らせる世界を実現することを目的として活動しています。
活動プロジェクト	マイクロファイナンスプロジェクト こどもプロジェクト 難民プロジェクト
ミッション	■機会の平等を通じた貧困削減 機会の平等を通じた国内外の貧困削減に取り組めます。 ■スーツを着ながら社会貢献 私たちは専従職員をもち、メンバー全員が本業の仕事をもちながら平日夜・週末を使って活動しています。 限られた時間のなかでも、その力を束ね互いに助け合い目標に近づいていけると信じています。

これまでの実績

- 2009年から2022年までの13年間にわたり、カンボジア・ベトナム・ミャンマーのマイクロファイナンス機関へ、総額約3億円を投資し、彼らの活動を支援。
- 償還済みの投資先についてはプラスで償還し、償還率は平均して約130%。
- カンボジアにおいて、延べ30,000人およびその家族に融資や支援が行われました。2018年に立ち上げたミャンマーMFIファンドでは、合計約6,500万円を投資しました。

LIPの取扱業務

LIPは、投資先の発掘検討といった上流工程からファンド組成後の期中モニタリングといった下流工程まで、幅広くサポートしています。

商品組成

商品販売

運用

投資先の
発掘・調査投資国の
調査現地
調査レポート
作成投資
決定

募集

送金

分配
金計算モニタリ
ング・
レポート作成

償還

MFI候補発掘・調査

Country	国名	Human Development Index	Investable Assets	Population
Thailand	タイ	0.782	10.1	65.8M
	タイ	0.782	10.1	65.8M
Vietnam	ベトナム	0.687	4.2	81.5M
	ベトナム	0.687	4.2	81.5M
Cambodia	カンボジア	0.587	0.2	15.7M
	カンボジア	0.587	0.2	15.7M
Laos	ラオス	0.587	0.2	6.5M
	ラオス	0.587	0.2	6.5M

DDレポート



モニタリングレポート、研修



目次

1. Living in Peace マイクロファイナンスプロジェクトのご紹介
2. ケニアについて
3. 現地の様子

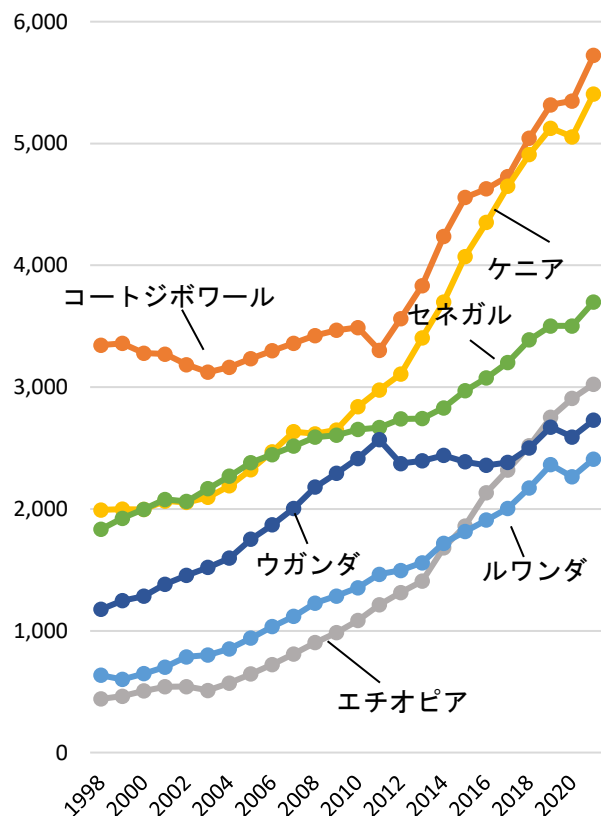
ケニアの場所



ケニアのご紹介（マクロ環境）

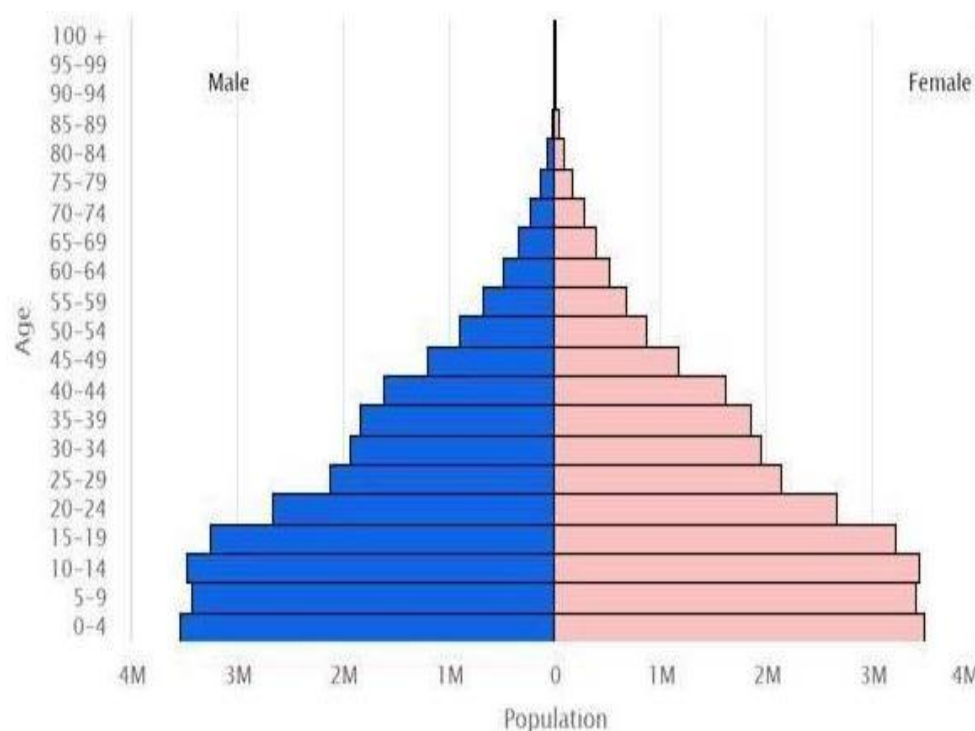
1人あたりGDPの推移(PPPベース)

(USD)



ケニアの人口構成

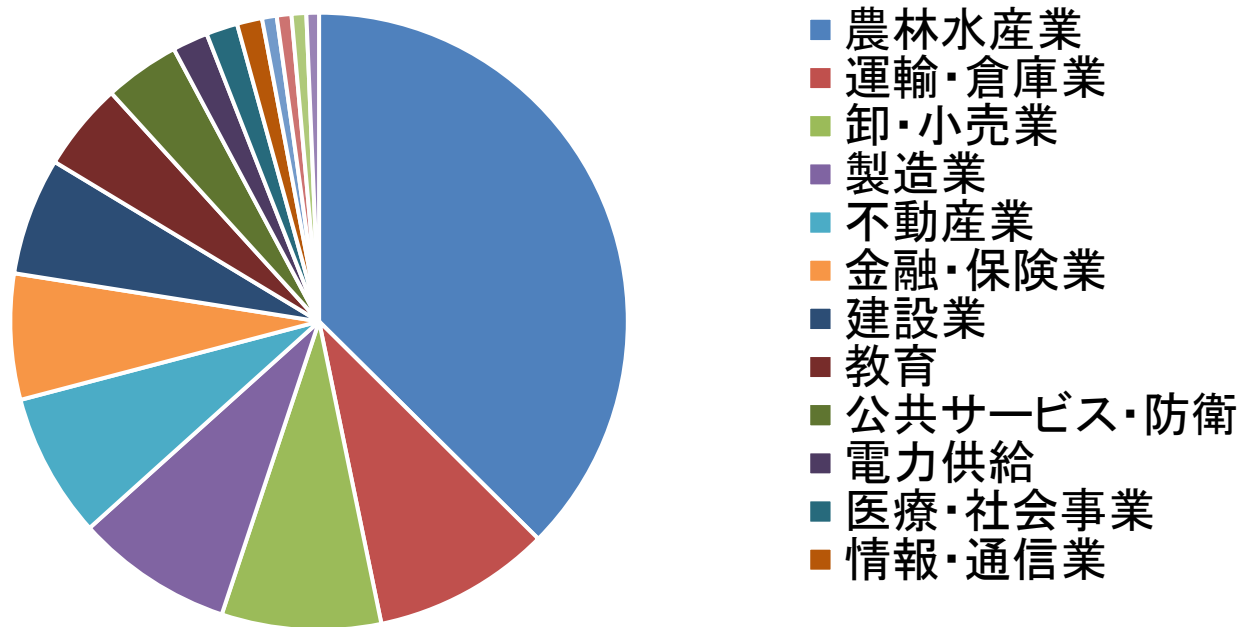
(百万人)



出典：THE WORLD FACTBOOK, Kenya (2022年, CIAが作成)

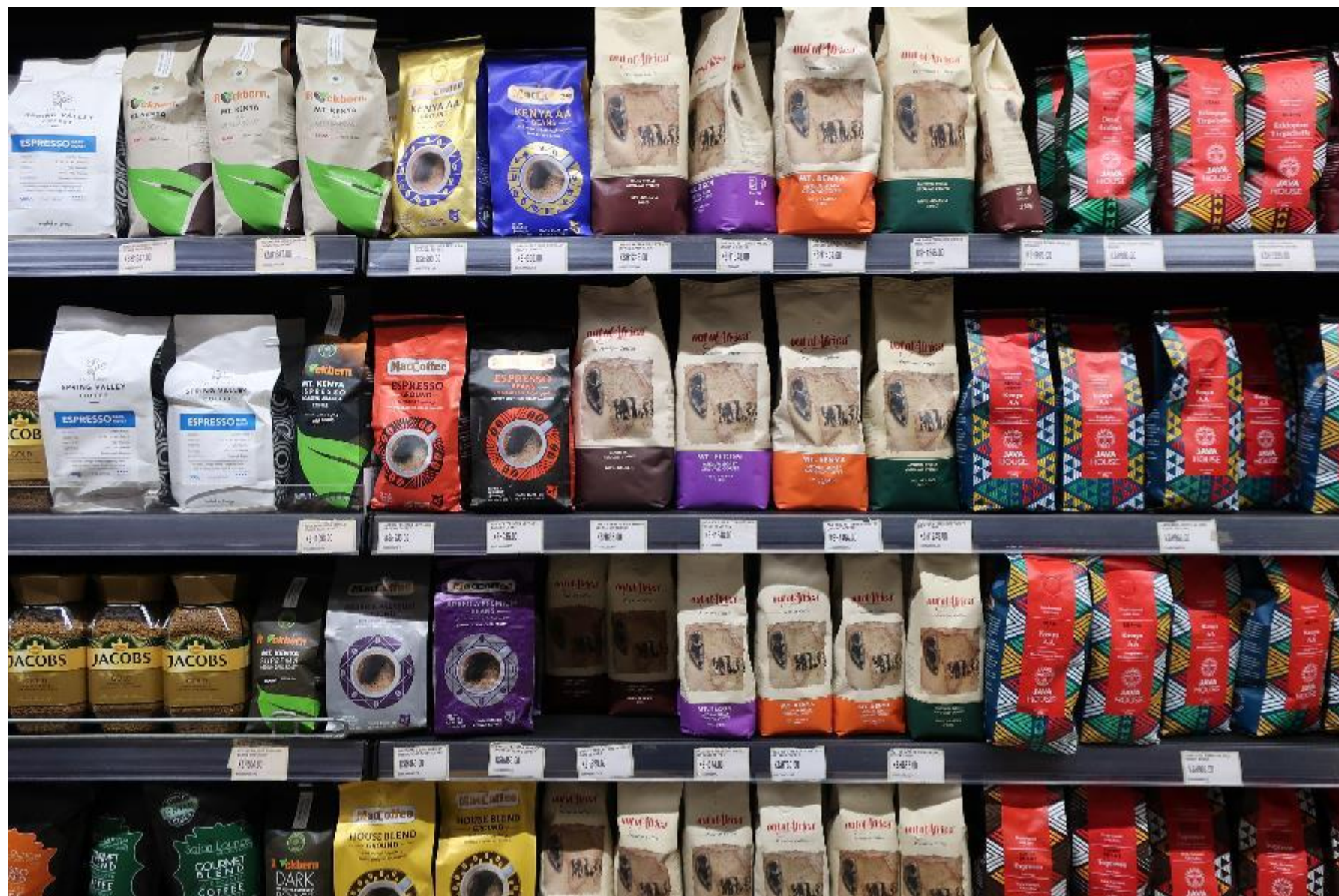
ケニアのご紹介（マクロ環境）

産業別GDP構成比（2019年）



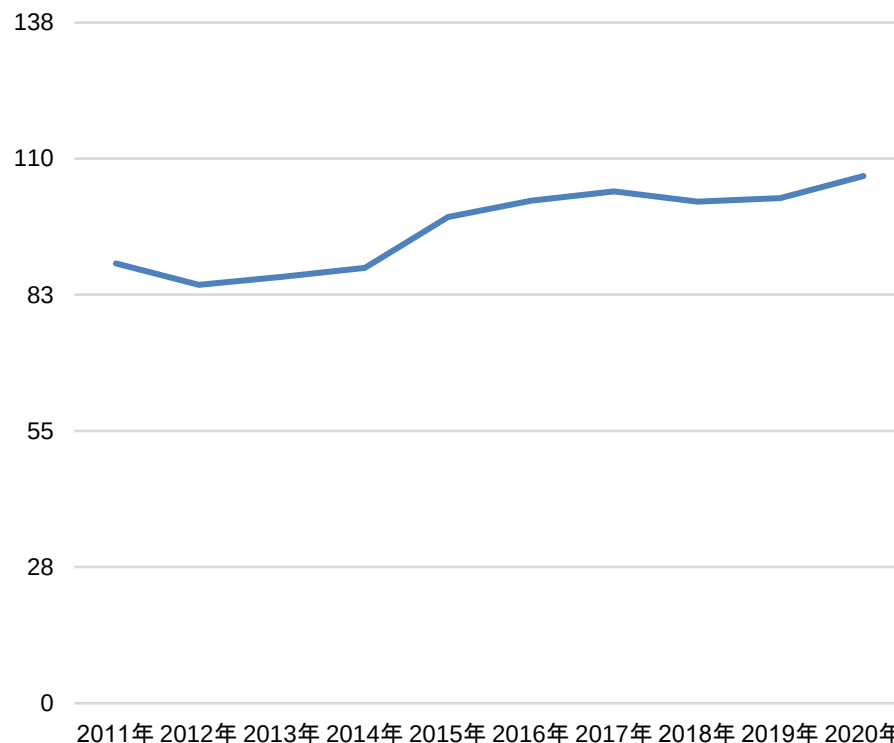
出典：「ケニア最新経済概況とビジネス環境」（2021年5月 ジェトロ ナイロビ事務所）を元に作成
上記は暫定値。

ケニアのご紹介（マクロ環境）



ケニアのご紹介（マクロ環境）

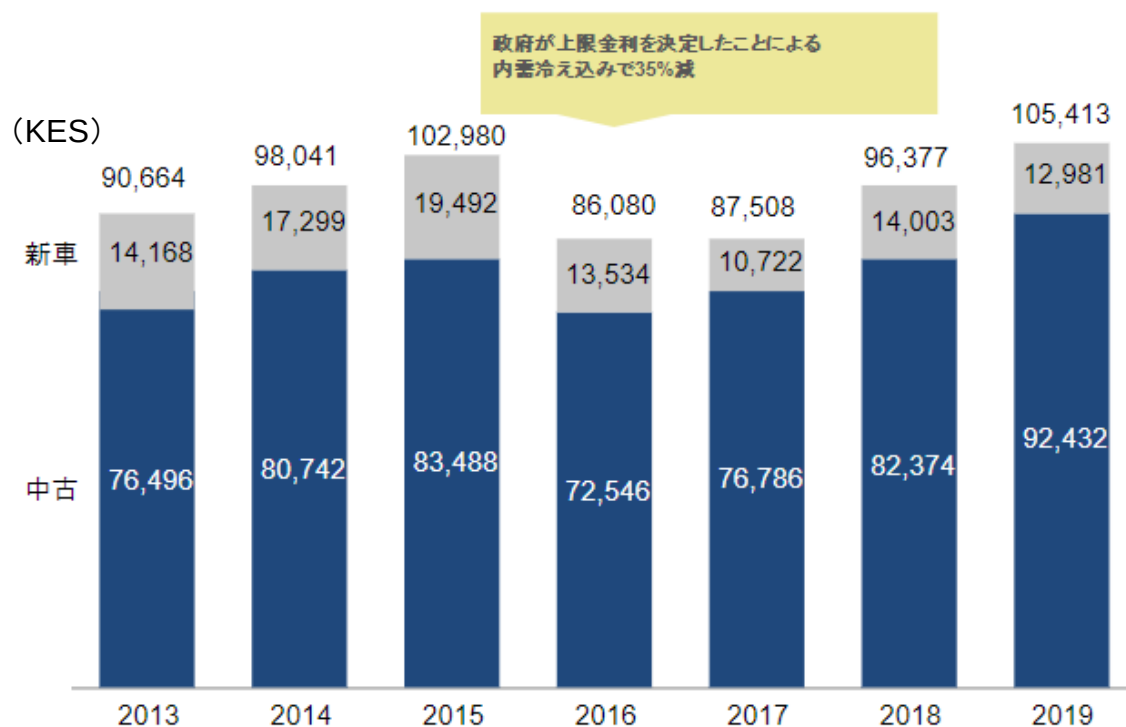
為替レート推移（USD/KES）



出典：「ケニア 基礎的経済指標」(2021年10月, JETRO)を元に作成

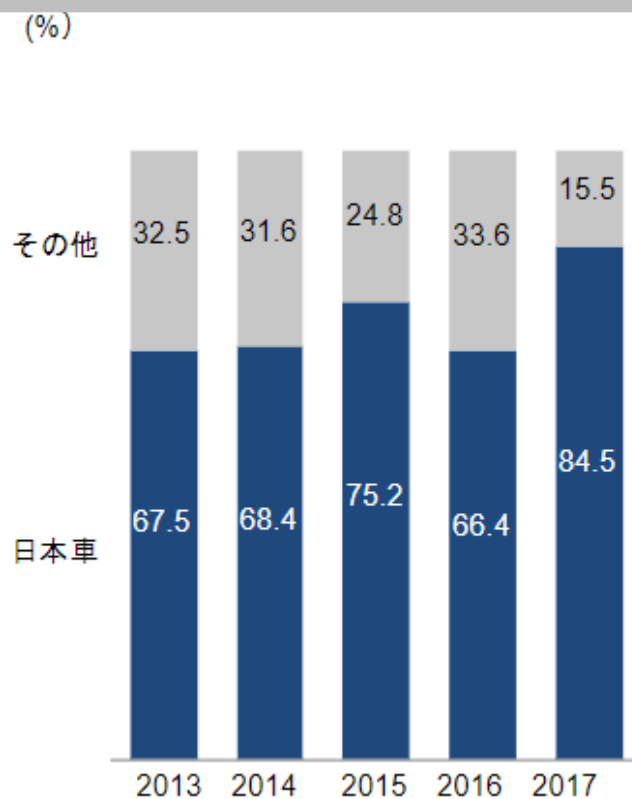
ケニアのご紹介（自動車流通）

ケニア国内の年間新規登録車推移 (台)



出典：ケニア国家統計局「Economic Survey 2020」、 「Leader Economic Indicators」を基に作成

中古車輸入の日本車占有率(%)



出典：ケニア自動車工業会「Vehicle Sales for year 2013~2-19」、Leading Economic Indicator January 2020

ケニアのご紹介（交通事情）

市内は車が主要な交通手段

ミニバス (マタツ)

乗り合いバス。ナイロビでは通勤者の50%がマタツを使用していると言われるほど市民の主要な交通手段。10人乗りのバンを15人~20人乗りに改造することが多い



トゥクトゥク、 ボダボダ

トゥクトゥクは3人乗り三輪タクシー。車と比べて速度は遅いが短距離移動で重宝される。ナイロビにはない。ボダボダはバイクタクシー。通常のバイクの後部に1-2人の顧客を乗せて走る



タクシー

Yellow cab等のタクシー事業者（主に空港からの送迎サービスを提供）と、個人のタクシー事業者（市内移動が中心）が存在する



大型バス

シティーホッパーやKBS (Kenya Bus Service) 等がメイン。マタツ程ではないが市内の短距離輸送を担う。長距離輸送は空路と並んで主役



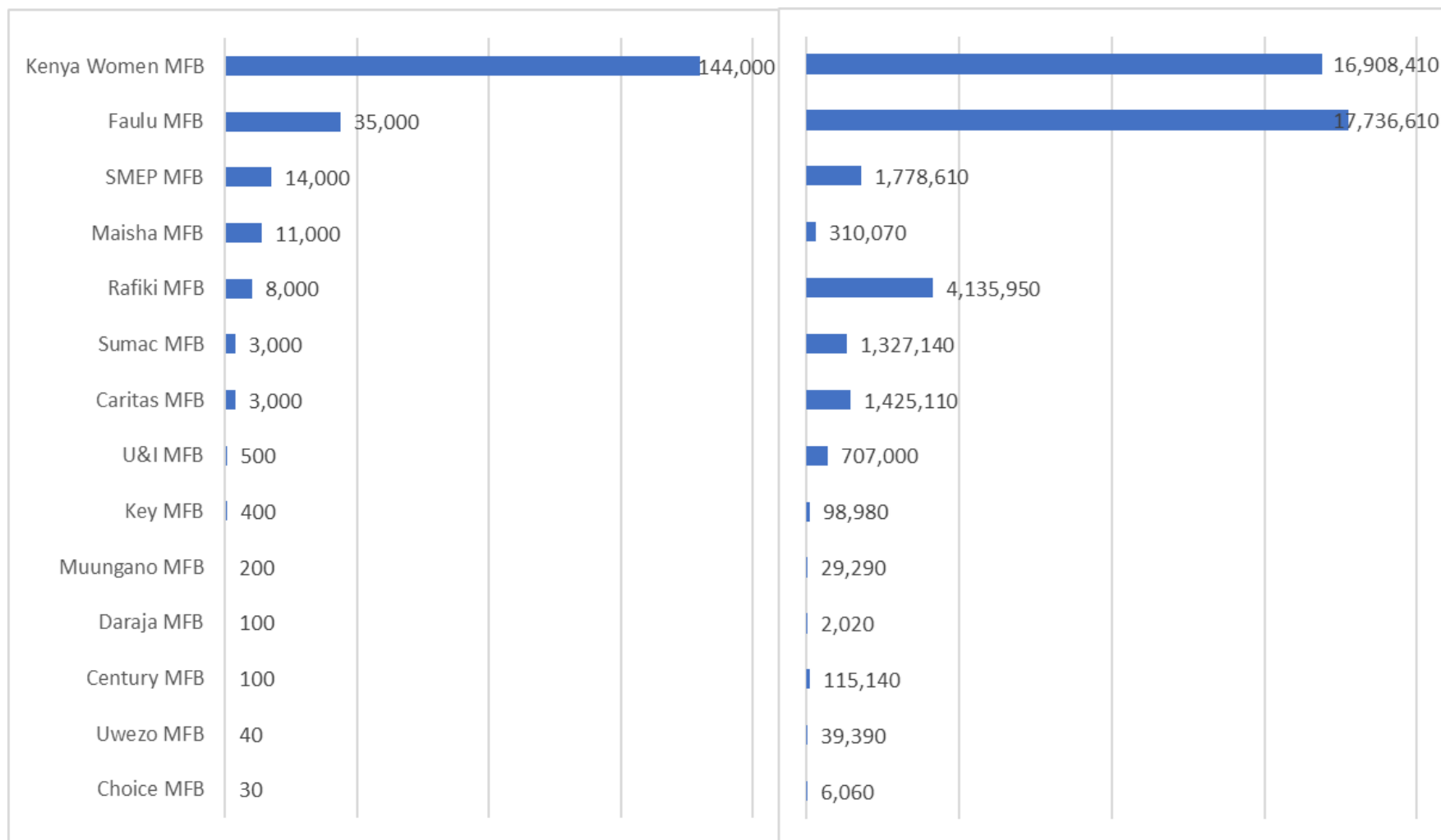
ケニアの金融アクセス

- 10万人当たりの銀行の支店設置数 (2018年)
 - ケニア : 5.0店舗
 - ガーナ : 8.5店舗
- 10万人あたりのATM設置数@ケニア
 - 2007年時点で4.6機
 - 2020年には7.3機
- 銀行口座保有率 (2017年)
 - 全世界 : 67%
 - ケニア : 39.1%
- モバイル決済 (M-PESA) の代理店@ケニア
 - 2010年 : 約4万店舗
 - 2020年 : 約28万店舗

ケニアの金融アクセス

顧客数

融資残高（千円）



目次

1. Living in Peace マイクロファイナンスプロジェクトのご紹介
2. ケニアについて
3. 現地の様子

サファリ



サファリ



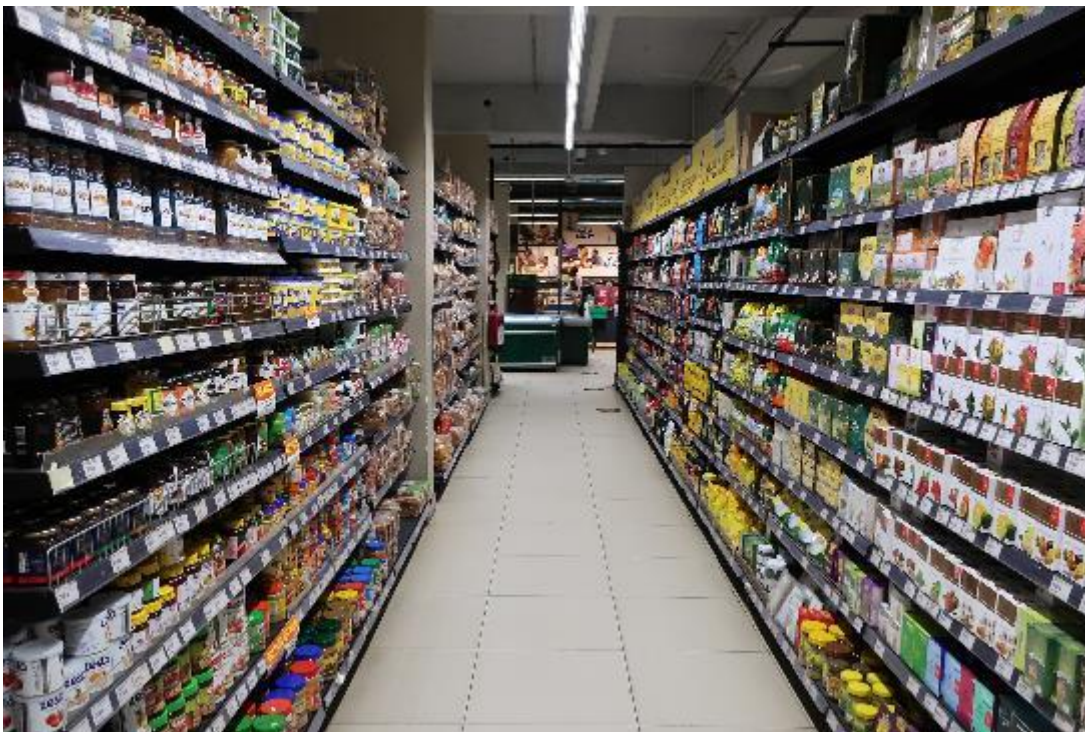
街中の様子



街中の様子（2010年代前半）



街中の様子





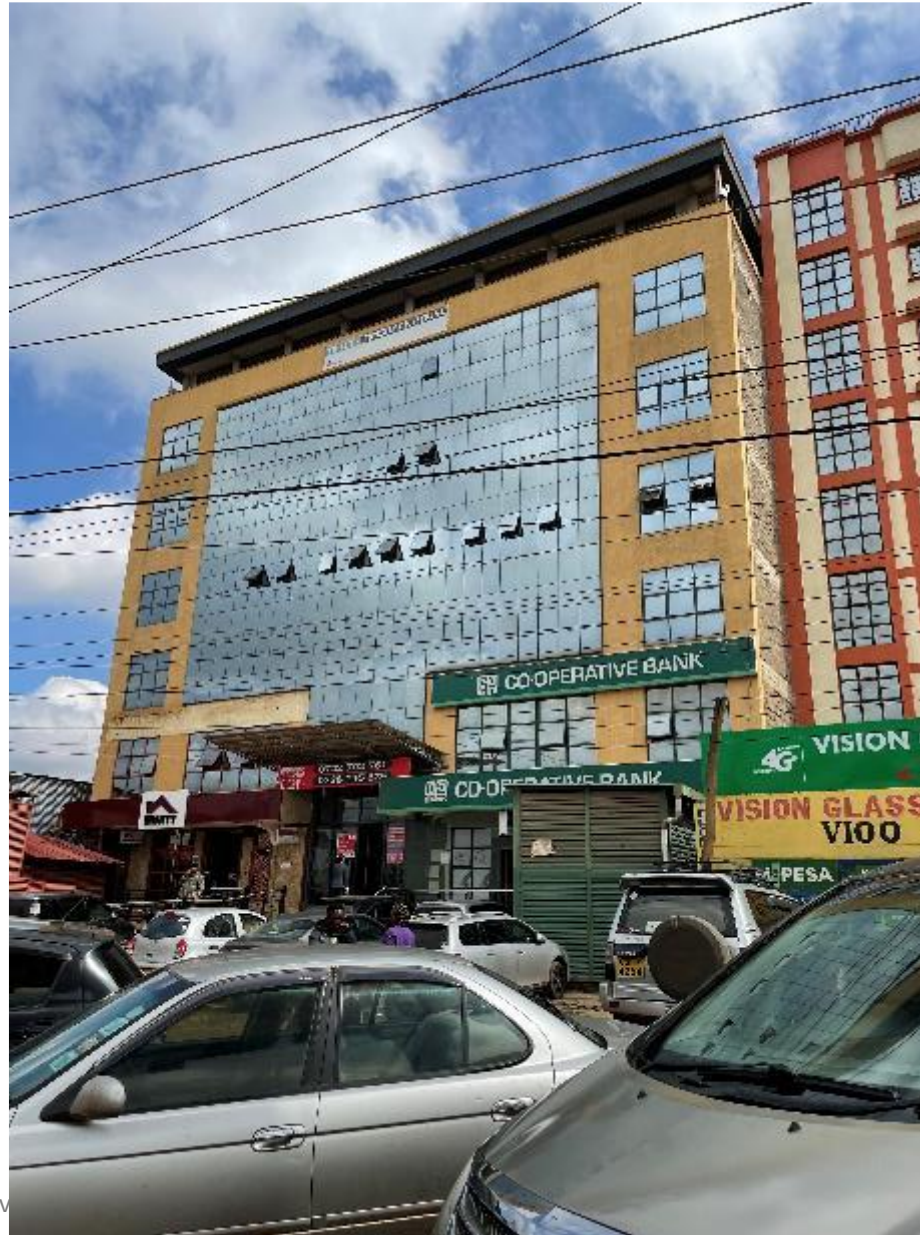
第二の都市 モンバサ



第二の都市 モンバサ



HAKKI AFRICAのオフィス



HAKKI AFRICAのオフィス

